

知っところ!!!

新春号 No.133/2023/ New Year

森林組合つうしん



森だより
(133)

【 現業職員の中から初めての定年退職者です 】

も	新年のあいさつ P 1	
	事業1課 伐採譲渡証明申請 他 P 2	総務課 アンケートのお願い 他 . . . P 5
く	事業2課 労働災害ゼロを目指して . . . P 3	市況・大犯土表 P 6
	店舗 (森の道具屋) しいたけ原木販売 他 P 4	編集者の独り言 P 7

発行責任 日吉町森林組合

〒629-0341 京都府 南丹市 日吉町 殿田 尾崎 8-1

E-mail h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp

Tel 0771-72-0017

Fax 0771-72-1375

森林組合WEBサイト

日吉町森林組合





新年のあいさつ



代表理事組合長 湯浅 勲

明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、森林組合の業務運営に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

さて、去年は、2月24日にロシア軍が突然にウクライナへ侵攻し、一時は首都キーウに迫るなど、春先から世界中を困惑の渦に巻き込みました。そのせいで食糧や天然ガスなどの輸出入が滞ったり、長期化する戦争は民主主義陣営対専制主義陣営の様相を呈し始めるなど、目が離せない状況になっています。さらに、北朝鮮や中国も不穏な動きを見せ始めており、一昔前とは隔世の感があります。

そんな中、我が国では未だにコロナのトンネルから脱しきれず、カタールで開かれたサッカーワールドカップの映像がウソのようです。また夏ころから物価が上がり始め、新聞記事によると、直近の消費者物価指数は前年同月比3.8%の上昇だそうです。

そういう状況下で、一昨年夏から続いていた「ウッドショック」も収束し、一夜ならぬひと夏の夢と消えてショック前の価格に戻りつつあります。さて、今年はどうなるのでしょうか。引き続きウクライナや中国・北朝鮮からは目が離せないし、世界的なインフレが私たちの日々の生活にどう影響するかも気になるところです。

しかしその一方では、地球温暖化現象を背景にSDGsの流れがあり、森林の大切さや木造建築が見直され始めてきました。すでにわが国でも木造の11階建てビルができていますから、森林の未来が明るくなる可能性は十分にあります。

日吉町森林組合としては、今年も「持続可能な森林管理」をめざして、仕事の質と組合員様の満足度の向上を目指して、森林整備を柱に、森の道具屋、獣害対策などの事業を推進していく所存であります。本年も、皆様の暖かなご指導ご鞭撻をよろしくお願いを申し上げまして、新年のあいさつとさせていただきます。

事業 1 課

山林の確定申告と伐採譲渡証明について

2月16日(木)から2023年提出分の確定申告期間が始まります。1月1日から12月31日の1年間の所得が対象となりますが、山林所得は他の所得とは分離して税率が決まります(分離課税)。この山林所得が100万円以下であれば非課税となり、100万円を超える場合は課税対象となります。

ただし「森林経営計画特別控除」という制度があり、それが適用されると約170万円程まで非課税となります。この制度を受けるには南丹市が発行する「伐採(譲渡)証明申請書」などの書類を税務署へ提出する必要があります。

この伐採譲渡証明書の申請をするための「伐採譲渡証明申請書」について、森林組合では代筆サービスを行っております。2022年に課税対象山林所得があった方は、森林組合へご連絡いただければ作成いたします。

所有山林において倒木などの被害はありませんか



ここ数年、大きな台風や大雪による自然災害は、日吉町内では発生していません。しかしながらこの記事を書いている1/17(火)の天気予報によると、1/23(月)以降の寒波では平野部でも雪となる予報で、日本海側の山間部では大雪となる予報が発表されています。

日吉町は、冬のシーズンは日本海側の天候になるとよく言われますので、降雪量が心配される所です。万が一、所有山林やご自宅近くの山林で倒木被害などが発生してしまいましたら、森林組合へご連絡ください。

木材価格の動向について

2021年の夏前頃から木材価格の値上がりが徐々に始まり、2022年春頃にピークを向かえた後、値下がりに転じました(当組合販売データより)。特にヒノキ丸太価格の下落が顕著で、合板材で見ると現在ではピーク時より11,000円/m³も値が下がりました。

どこまで値が下がるのかと不安になりますが、現在は落ち着きを取り戻し木材市場の市況によると、スギ材・ヒノキ材とも少し値が上がっているということです。

新年のあいさつにもありますように、SDGsなどの取り組みも後押しして、徐々に木材利用の場が増えてきています。昨年までのウッドショックは、国産材が見直される良い機会だったと書かれているニュース記事もありました。今後木材需要が増加することに期待し、それに応えられる供給体制づくりをさらに進めていきたいと思っております。

事業 2 課

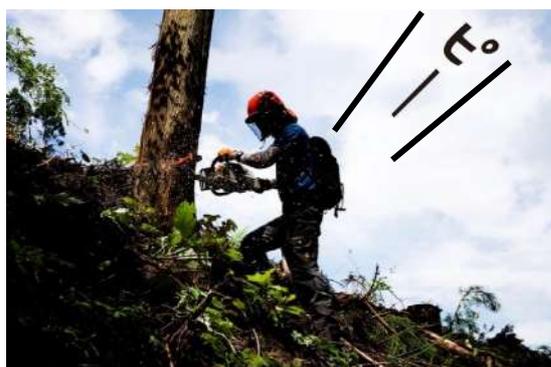
労働災害ゼロを目指して！

林業現場における労働災害発生率は、年々減少傾向にはあるものの他産業に比べて非常に高く、特にチェーンソーを使用した伐倒作業中の災害発生率が高くなっています。

チェーンソー伐倒作業時の災害と聞くと、伐倒作業をしている本人が被災するケースを想像しますが、実は第三者（一緒に作業している同僚や森林所有者）が倒れてきた木に激突され被災するといったケースも目立ちます。

そこで、所有者の皆様や働く職員の安全を守るため、1月5日に労働安全講習会を実施しました。講習会では、最新の VR 機器*を利用した被災体験（他人が伐倒した木に直撃）をしました。その後のミーティングでは、常日頃の作業の中でこういったことに注意をすれば事故は防げるのかを話し合いました。

その中で多かった意見が「合図の徹底」でした。これまでも、伐倒時には笛を吹くというルールが決まっていたのですが、木くずが詰まるなどしていつの間にか使わなくなっていました。そこで木くずの影響がない「電子ホイッスル」を購入し、再度伐倒時の合図を徹底することを決めました。



この合図は、木を倒す前に鳴らして周囲に知らせます。また、重機を動かす前にはクラクションを鳴らして周囲に知らせます。

皆様も山に入られた際、もし音が聞こえたら、それは近くで作業をしている合図ですので、周囲にご注意ください。



※VR は仮想現実のことを言います。限りなく実体験に近い体験が出来ます。

現場職員制度導入後初めての定年退職者！



植木 優

昨年 10 月末を以て、勤続 26 年 6 ヶ月の植木 優が無事定年を迎えました。労働災害発生率や離職率が高い林業現場において、無事定年を迎えられ事は嬉しい限りです。今後は後進の指導も行いながら、機械オペレーターとしてまだまだ活躍していただきます！

森の道具屋

しいたけの菌打ちシーズン到来！

今年度もしいたけ用原木・菌入原木・しいたけ菌等の販売を行います。今年のしいたけ用原木の販売本数は例年の半分程の1,500本となります。現在、予約注文やしいたけ菌の販売を始めています。**ご購入をお考えの方は、お急ぎください！**

ご注文は、電話・メール・ご来店にて賜ります。



薪買取ります！！

店舗・森の道具屋では、薪の買い取り販売を行っています。薪の販売量は、年間約2000から2500束となります。ここ数年、キャンプブームで薪の販売量が増加していますが、薪の生産者が減少し薪不足の状態が続いています。そこで、組合員の皆様のご自宅などで余っている薪や新たに作られた薪を買い取らせていただければと考えております。買い取りの数量は1束からでも可能ですので、森林組合へご連絡ください。

買い取り可能な薪

1束の直径
約23~24cm



長さ約40cm

樹種は広葉樹（コナラ・クヌギ・アベマキ・カシ・サクラ）に限ります。

買い取り価格

1束 350円から450円となります。
木の状態により金額は変動致します。

小型機械の修理手数料の変更について

日頃より、草刈機やチェーンソーなどの小型機械の修理をご利用いただきありがとうございます。「やっぱり森林組合やないと修理はあかんわ」と多くの方にお喜びいただいております。

しかし、それ故に修理台数がかなり多くなっており、修理完了までに時間がかかりご迷惑をお掛けしてしまっているとともに、担当職員の通常業務も圧迫し、こちらのお客様にもご迷惑をお掛けしてしまっております。

つきましては、現状の改善を図るべく、修理手数料の見直しをさせていただきますので、ご了承ください。

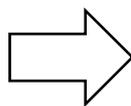


現在の機械修理手数料

点検・清掃・修理 ¥550

スターターロープ交換 ¥1,100

※3/31受付分までは上記金額です



4月1日より改定します。点検・清掃・修理に関しては内容により金額が変わります。詳細は決まり次第お伝え致します。

総務課

農×地域シンポジウム「未来を耕す」に参加します

令和5年2月18日(土)につむぎ・農×地域シンポジウム実行委員会が開催する「未来を耕す～これからの農と地域を考える～」シンポジウムに、当組合の森林プランナー堀田 暢君が参加します。森林の獣害や課題について話をしたいと思っています。組合員の皆様も是非ご参加下さい。

農×地域シンポジウム 詳細

日時 令和5年2月18日 10:00～16:00(開場9:30)

場所 南丹市日吉町生涯学習センター 遊 you ひよし

参加費 南丹市民 1,000円 一般 1,500円 学生無料

参加申し込みは、E-mailにて「お名前」「ご連絡先」「参加希望の分科会(当日変更可)」をご記入いただき tsumugi.nantan@gmail.com までお送り下さい。

イベント内容

午前の部

基調講演

『『風の人』の目を見た農と地域の未来』
西川 芳昭さん(龍谷大学・経済学部教授)

事例発表

地域からの3つの事例

午後の部

テーマ別分科会

① 南丹市の農業 ② 森林と農村
③ オーガニック農業 ④ 農×移住

パネルディスカッション

「これからの農と地域」

詳
登
内
容

組合員の名義に変更ありませんか？

「法務局で相続登記したのに、組合からの郵送物の宛名がまだ変わっていない」「相続の手続きは組合にも必要なの？」などの問い合わせをいただく事があります。法務局で登記した情報が森林組合へ提供されることはありませんので、名義が代わられた際には、法務局とは別に組合への手続きもよろしくお願いいたします。御連絡いただいた方には、名義変更手続きに必要な書類を一式お渡しいたしますので、日吉町森林組合・総務課までお気軽にご連絡ください。

※本人確認書類の写し(免許証・保険証等)が必要となります。予めご了承ください。

組合員の皆様へアンケートのお願い

日吉町森林組合では、組合員の皆様が森林組合の商品や、サービスに対してどのような感想やご意見をお持ちなのかをお伺いするため、アンケートを実施致します。

ご回答いただきました内容については、今後の商品及びサービス向上に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

アンケートについては、同封しておりますアンケート用紙に記入し、返信用封筒にてご返信下さい。



年明けの木材市況

(資料提供・北桑木材センター R5.1.10)

スギ	中目	4m×18~24 cm	¥ 10,000~16,000
	〃	4m×24~30 cm	¥ 20,000~23,000
	柱	3m×16~20 cm	¥ 13,000~15,000
	〃	6m×16~20 cm	¥ 15,000~18,000
	元木・良材	4m×24 cm上	¥ 35,000~40,000
ヒノキ	中目	4m×18~24 cm	¥ 15,000~18,000
	〃	4m×24~30 cm	¥ 18,000~20,000
	柱	3m×16~20 cm	¥ 18,000~20,000
	〃	6m×16~20 cm	¥ 20,000~24,000
	土台	4m×14~16 cm	¥ 13,000~15,000

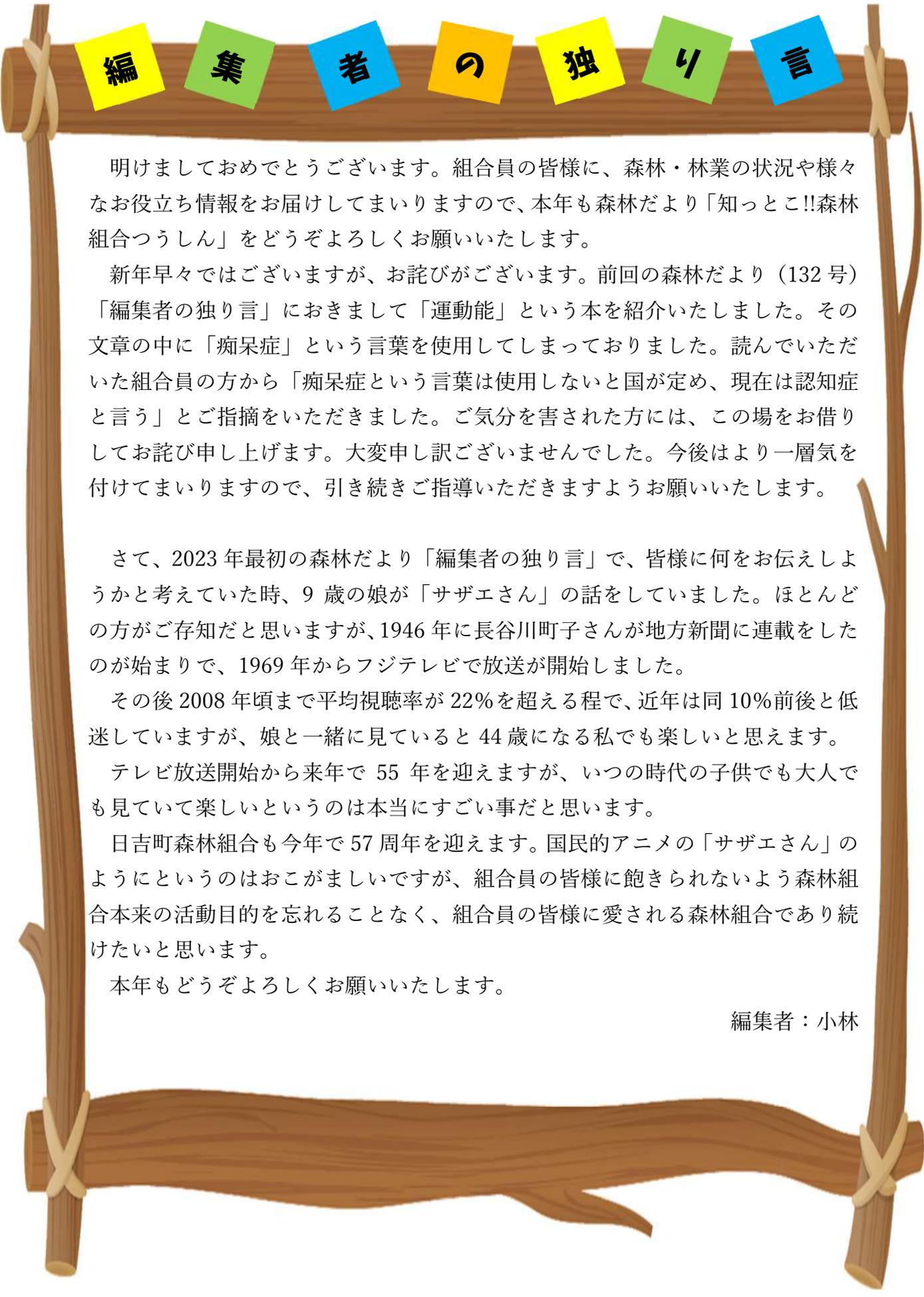
新春号恒例「2023 年大犯土表」

月	大つち	小つち	土用	木の採れる日
1	12~18	20~26	17~31	1~11
2			1~3	4~28
3	13~19	21~27		1~12/28~31
4			17~30	1~16
5	12~18	20~26	1~5	6~11/27~31
6				1~30
7	11~17	19~25	20~31	1~10
8			1~7	8~31
9	9~15	17~23		1~8/24~30
10			21~31	1~20
11	8~14	16~22	1~7	23~30
12				1~31

「大つち」、「小つち」、「土用」の各日は、土を司るといわれる土公神が土の中にいるため、土をいじると災い起きる期間とされています。

昔から「大つち、小つち、土用」の期間に木を伐ると、虫が入り腐りやすくなると云われ、それ以外の日に伐れば虫が入り難く、腐り難いと云われています。

例えば、家の裏の竹を伐る時、伐った竹はその場で早く腐らせたいと思えば「大つち、小つち、土用」の期間に伐る。逆に、伐った竹を使いたいと思えば「木の伐れる日」に伐るというような感じです。昔から生活のあらゆる場面で木材を使ってきた、日本人ならではの考え方ではないでしょうか。是非参考にしてみてください。



編

集

者

の

独

り

言

明けましておめでとうございます。組合員の皆様に、森林・林業の状況や様々なお役立ち情報をお届けしてまいりますので、本年も森林だより「知っとこ!!森林組合つうしん」をどうぞよろしく願いいたします。

新年早々ではございますが、お詫びがございます。前回の森林だより（132号）「編集者の独り言」におきまして「運動能」という本を紹介いたしました。その文章の中に「痴呆症」という言葉を使用してしまっておりました。読んでいただいた組合員の方から「痴呆症という言葉は使用しないと国が定め、現在は認知症と言う」とご指摘をいただきました。ご気分を害された方には、この場をお借りしてお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。今後はより一層気を付けてまいりますので、引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

さて、2023年最初の森林だより「編集者の独り言」で、皆様に何をお伝えしようかと考えていた時、9歳の娘が「サザエさん」の話をしていました。ほとんどの方がご存知だと思いますが、1946年に長谷川町子さんが地方新聞に連載をしたのが始まりで、1969年からフジテレビで放送が開始しました。

その後2008年頃まで平均視聴率が22%を超える程で、近年は同10%前後と低迷していますが、娘と一緒に見ていると44歳になる私でも楽しいと思えます。

テレビ放送開始から来年で55年を迎えますが、いつの時代の子供でも大人でも見ていて楽しいというのは本当にすごい事だと思います。

日吉町森林組合も今年で57周年を迎えます。国民的アニメの「サザエさん」のようにというのはおこがましいですが、組合員の皆様に飽きられないよう森林組合本来の活動目的を忘れることなく、組合員の皆様に愛される森林組合であり続けたいと思います。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

編集者：小林